～KENGI の健康経営～（大阪建築技術協会の健康経営について）

理事長あいさつ

私たち大阪建築技術協会は、公共建築物等の整備保全を通じて、まちの安全・安心・快適の維持・向上に貢献する、技術の専門家集団です。

これまで、信頼される組織づくりと職員が健康で元気に働ける職場づくりをめざして様々な取り組みを進め、平成30年度からは健康経営優良法人に認定されています。

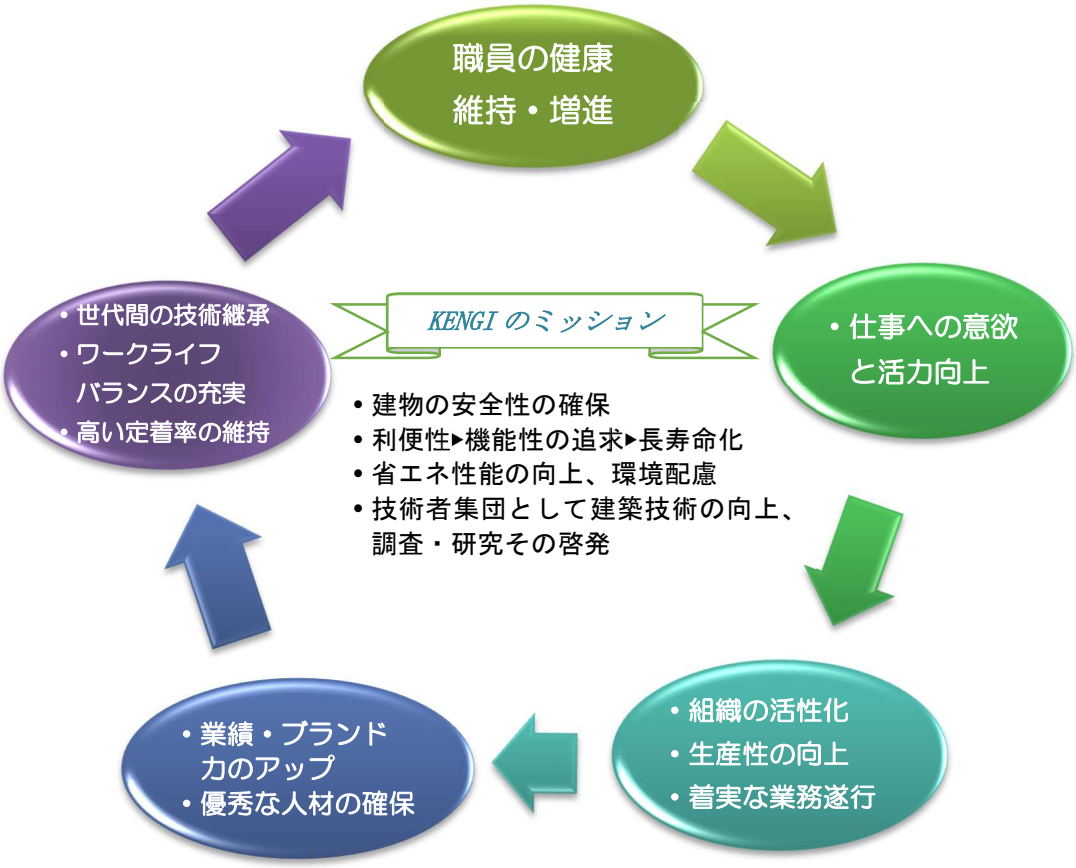
今後もさらなる職員の健康づくりを推進し、組織の活性化と生産性の向上を図るなど、好循環環境を創り出すことで、KENGI のミッションを果してまいります。

大阪建築技術協会　理事長　上村　洋

基本方針

- 役職員の健康づくりに取組み、その効果を最大限に活かすため、好循環環境を創出する『KENGI の健康経営サイクル』の確立を目指し、安心・安全を大前提とした公共建築物の整備保全など、快適に暮らせるまちづくりに貢献していく。

KENGI の健康経営サイクル　⇒　好循環環境の創出



健康経営宣言

- 当協会は昭和56年度創立以来、公共施設の整備保全を通じて、安心で心地よい都市環境の形成を支えてきた技術者集団として、これからも使命と誇りをもって、その社会的役割を果たしていくために、健康経営に取り組み、役職員とその家族の健康を追求していきます。

具体的取組

- ３５歳以上の役職員に健康診断として人間ドックの実施
- ４５歳以下の役職員に遺伝子検査の実施
- 健康診断の結果で要再検査対象の再検査受診率１００%を目指す
- ４０歳以上の節目年齢時の人間ドック オプション検査料（脳ドック等）の補助
- 役職員の配偶者人間ドック受診補助の実施件数のアップ
- 健康診断、ストレスチェック受診率１００%の継続
- 協会けんぽ等との連携強化⇒健康指導、健康経営責任者との意見交換
- 年次有給休暇（２５日付与）取得率平均８５%達成⇒平均９０%を目指す
- 残業時間 月平均８時間⇒残業時間の月毎の平準化を目指す
- 健康イベントの実施⇒ボウリング大会、健康ストレッチの推奨など
- 『歩いて健康増進』（スマホのアプリで歩数計測の実施）
- 健康サポート月間の取組み（５月、１０月）⇒健康増進週間・・食生活改善に向けた野菜ジュースの提供・健康測定会の実施
- 健康づくり・文化啓発（歴史的建造物鑑賞等）助成申請率 80%⇒85%を目指す
- 熱中症対策飲料設置（６月～９月）
- 健康ニュースの発行
- インフルエンザ予防ワクチン接種料全額負担
- 禁煙外来治療費（保険適用分）の助成
- 健康経営優良法人２０２７の認定申請

2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

健康経営実施体制

- 健 康 経 営 責 任 者……理事長
- 健康経営推進リーダー……専務理事
- 健 康 経 営 推 進 委 員……各課長(4名)
- 健康づくりプロジェクトチーム……経営戦略室長、企画総務課長、
  企画･ICT 推進担当課長代理、企画総務課職員(3名)

取組の検証(PDCA)

- 健康経営責任者が方針を定め⇒健康経営推進リーダーが取組計画を策定⇒実施確認、検証、健康課題抽出⇒対応策、取組計画の再構築⇒健康経営上の弱みの解消･改善につなげる（方針⇒計画⇒取組⇒効果の検証⇒改善）

「健康経営®」は NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

『健康経営優良法人2026』

に認定されました

一般財団法人大阪建築技術協会は職員の健康を考えた経営方針が評価され、経済産業省（日本健康会議）が主催する「健康経営優良法人2026」に認定されました。

「健康経営優良法人認定制度」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、優良な健康経営を実践している企業や医療法人等の法人を顕彰する制度です。

今後も、職員が長く健康で働くことができる職場づくりを目指して、健康維持・増進の取組みを実践し、「健康経営」の推進に積極的に取組んでまいります。

2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

認定証
（大規模法人部門）

法人名 一般財団法人大阪建築技術協会

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

２０２６年３月９日

日本健康会議

日本健康会議
NIPPON KENKO KAIGI

A15090

＜参考情報＞

・健康経営優良法人（大規模部門） 認定法人一覧（EXCELファイル）